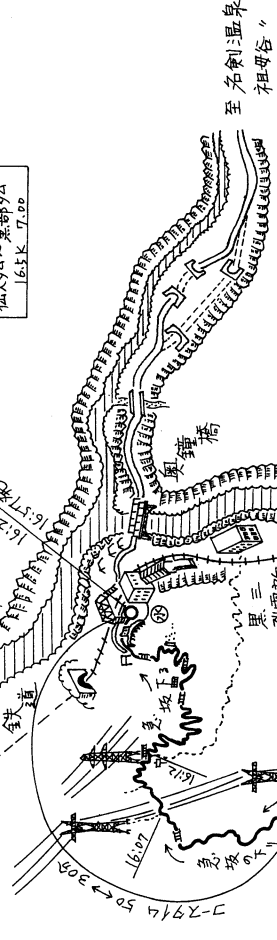
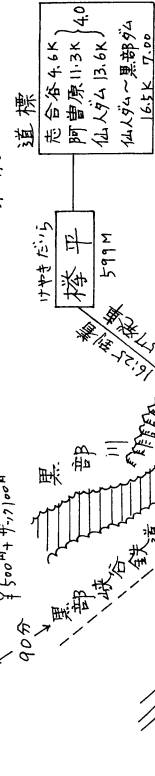


宇奈月～富山間約20分  
至宇奈月(18:19着)  
鉄道から眺める展望も素晴らしいものである。



トンネルを出て、たしかこの辺だと、  
先程見つけた猿の直下へ行く。  
「いよいよ、赤い顔して灰茶色の  
三匹がクスギの枝に集って、  
我々を見つめている。猿のマネ  
して相手にになっておかないこと……」

岩壁をえぐって造られた水平道を  
「大太鼓」へ着く。正面には奥鐘山  
の600メートルはある大断崖を抜けた  
ような高大な大岩壁がやや黒ずん  
だ灰色に白く輝く数条のたじま  
を織り出して迫力を見せている。  
水平道からなくなった深谷まで  
約300メートルはある大断崖が切れ  
落ちていく。覗き込めば吸い込まれ  
るような錯覚におそわれ、身の毛  
もよだつ危険箇所が続く。  
まさに下の廊下水平道のクマヤス、  
足元の岩壁には、昔の栈道を吊るし  
た名残の金具が随所に見られ、  
如何に秘境の難コース(命掛け)  
であったかを思わせるに十分である。  
避難路に頭を下げて、改めて  
オバハンガの岩棚道を見直す。

奥鐘山  
1507M

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

大断崖  
大断崖の橋  
大断崖の橋

黒部下の廊下の山歩きを、  
快晴の2日間で無事終え  
ることができた。出発前のう  
わさ以上の敵は、全コ  
ースを通じてこんな素晴らしい  
深谷があるとは想像でき  
なかった。この奥深い深谷  
の中に空気が、岩石、水、日光  
草木など自然の絶頂が、完  
壁に調和し、次から次へ  
現れる新鮮さは、飽く  
ことを知らず、水平道歩き  
であった。

注 1. 黒部ダムより阿曾原小屋まで  
約19kmで歩行時間は約  
7時間と休憩2時間で9時間  
を必要とする。  
2. 狭い岩棚歩きのため、縦長  
ザックを使用し、15kg以下がよい。

右眼下は一見して  
250メートルはある断崖、  
司理さんめば、身も縮む  
恐れ…… 激しく流れる  
黒部川は、水量も増し、底  
曲した岩壁にぶち当たっては砕  
けて渦を巻き、白波立てて流  
れていく。中腹は黄色を主  
体とした紅葉が帯のごとく  
わりと狭い。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

下廊下以外に奥、オバハンガ  
対岸200M以上はある切り立つ  
岩棚を歩いて行くところを尾崎  
兄(僕)に早してもう。

